

1 議 事 日 程

〔令和5年太宰府市議会 建設経済常任委員会〕

令和5年12月11日

午前10時00分

於 全員協議会室

日程第1 議案第58号 令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第2号）について

日程第2 議案第59号 令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算（第1号）について

2 出席委員は次のとおりである（5名）

委員長	入江 寿 議員	副委員長	木村 彰人 議員
委員	門田 直樹 議員	委員	橋本 健 議員
〃	笠利 毅 議員		

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（9名）

都市整備部長	柴田 義則	観光経済部長	友添 浩一
都市計画課長	古賀 千年志	観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	西山 英毅
建設課長	齋藤 実貴男	国際・交流課長	松井 百合子
上下水道課長	大久保 信孝	産業振興課長	満崎 哲也
上下水道施設課長	清武 伸寿		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	野寄 正博	議事課長	花田 敏浩
書 記	木村 幸代志		

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（入江 寿委員） 皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから建設経済常任委員会を開会します。

日程は、お手元に配付しているとおりです。

審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第58号 令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第2号）について

○委員長（入江 寿委員） 日程第1、議案第58号「令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第2号）について」を議題とします。

補正予算書は、水色の冊子になります。

執行部の説明を求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（大久保信孝） それでは、議案第58号「令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第2号）について」ご説明申し上げます。

水色の表紙の補正予算書3ページをご覧ください。

収益的支出、1款1項1目原水及び浄水費に1,706万9,000円を計上いたしております。

補正の内容といたしましては、現在実施しております松川浄水場耐震補強工事に伴う松川浄水場の停止期間を延長する必要が生じ、その間の配水量を確保するため、福岡地区水道企業団からの受水費を増額するものであります。

次に、1款1項2目配水及び給水費に349万5,000円を計上いたしております。

内容といたしましては、落雷等による水道施設の修繕が増加していることから、修繕費を増額するものであります。

次に、1款1項4目総係費に47万4,000円を計上いたしております。

内容といたしましては、本年8月の人事院勧告に基づき、会計年度任用職員の給与費等を増額するものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） 説明は終わりました。

質疑を行います。

質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 松川浄水場の耐震補強工事で停止期間を延長する必要が生じたということですが、どのような理由なのか、もう少し理由を聞かせてください。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（清武伸寿） 松川浄水場を停止しまして現地精査とあと工事に着手したとこ

ろ、なかなか事前には分からなかった想定以上の工事の困難さが出ております。例えば、今回のメインの工事が排水池、排泥池という施設になりますが、要は浄水過程で出る汚泥や汚水をためるところですが、その汚泥がかなり固着しております、まずそれを除去する、撤去するのにかなりの日数がかかっております。それと、今回の工事が耐震補強工事でコンクリート試打工事を行って耐震補強を行うものですが、そのコンクリートを試打ちする前に既存施設、コンクリート構造物を破砕して撤去する作業がございます。当初重機で行う予定でしたが、実際に現場に入りますと、重機のみではできない、かなり手作業で行う必要が生じた、そういったことで工事の延長が必要になったものでございます。

以上です。

○委員長（入江 寿委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） 企業団のほうで聞いてはおるんですけども、今喝水調整の集まりもやって、要は節水に努めてというだけの話で、天任せなんですよね。今ダムのほうから放流で一応導水が行われているという感じですけども、今後の流れというか、どれぐらいまでこの状態でもつのかなというのを具体的に聞いてないので、今日幸いちょっと降っていますけれども、どんな見込みですかね、特に太宰府市において。お願いします。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（大久保信孝） 委員ご指摘のとおり、現在、特に9月以降少雨傾向が続いておりまして、福岡地区水道企業団が保有する水源、山神水道企業団の山神ダム、こちらの水位がかなり低下してきておるところです。現在、具体的に送水制限というところで決定しているところはまだありませんが、福岡地区水道企業団においても国を主体といたしました筑後川水系の連絡調整会議で、今後少雨傾向が続けば水不足がかなり懸念される状況であるというところから、市民への啓発、水を大切にというところの啓発に力を入れていこうというようなお話は出ております。聞いているところによりますと、今月中旬に第2回がまた開かれるというところで、その中でまた具体の話が出てくるかもしれませんが、現時点におきましては情報収集に努めておるという状況でございます。

以上です。

○委員長（入江 寿委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 5ページの給与費明細書に関わることなんですけれども、今回の会計年度任用職員とは直接は関係ないのかもしれませんが、ちょっと気になってお尋ねしたいんですけれども、時間外勤務手当の割合がほかの会計と比べると大きいんですよね。その説明をいただきたいということと、自分なりの理由の予測はつくのであり得ることとは思っています。

けれども、決算書までは見てないので、昨年予算に対して決算で実際どれぐらいに時間外があったかというふうなこと、今分かればお聞きしたいんですけども。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（大久保信孝） すみません、決算につきましては手元に資料がございませんので、申し訳ございません。

予算に関しましては、昨年度、令和5年度の当初予算編成時におきまして、それまでの1年間分の時間外手当等を考慮して決定しております。ですので、夏場の大雨対応とかで長期間泊まり込みが生じていたり、あるいは漏水などで時間外が生じていたりといったところで時間外勤務が多くなっております。

なお、水道事業に関しましては、流用という対応というのが職員数も限られておるというところでなかなか難しいところもありまして、予算上は比較的多めに時間外勤務手当を確保しているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） おおよそそういうことだろうというふうに予測はしていたんですけども、昨今、賃上げとか社会的な流れがある一方で働き方改革とかで残業とかは少ないほうが望ましいみたいな風潮があるので、いろいろ法的な制約とかはあるかとは思いますが、工夫の余地はないかもしれないんですが、ちょっと心配したということだけ一言伝えておきます。

○委員長（入江 寿委員） ほかにございませんか。

木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 先ほど構造物の耐震工事が延びたということなんですけれども、内容についてお伺いしたいんですが、工期が延びるということは耐震工事そのものの変更も生じていると思われるんですが、ここに書いてある構造物等修繕費増の188万8,000円というところがそれに当たるんでしょうか。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（清武伸寿） それとはまた別のものになります。委員おっしゃってあるのは188万8,000円の分かと思うんですが、こちらのほうは高所配水施設関係の維持修繕に係るものとなっております。

以上です。

○委員長（入江 寿委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） とすると、工期が変わるというところで、新しいところの損傷箇所が出てきたということなんですけれども、これは工事費的には何かしら増嵩はないんですか。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（清武伸寿） トータルの工事期間というのは、大きな変更というのはございません。あくまで浄水場を停止しての工事期間、こちらを多少延長するということでして、もともと耐震補強工事というのは2月末までの工期で組んでおります。その範囲内で行うというもので、見直しの中で当然工事内容は多少変わってくる部分ではありますが、もともとの既決の予算で対応することとしております。

以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） これは福岡水道企業団から受水する期間が延びるということで1,700万円増えるんですけども、ちょっと整理したいんですけども、当初は大体工期的にはどのくらいの期間を見込んでいたのかどうかということと、今これは見込みとして1,700万円なんですけれども、早く終わった場合に、これは日割りになるのか分かりませんが、当然金額的には抑えることが可能なような気もするんですけども、それがどうかということと、それと先ほど門田委員からもありました今渇水傾向が続いているということで、これはうちの見込みとしては受水をお願いしたいところなんですけれども、企業団からの制限とかそこから辺のことがないのか、3点お願いします。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道施設課長。

○上下水道施設課長（清武伸寿） もともとの工事期間、停止期間というのは、おおむね3か月程度ということで見込んでおりました。それを最長2月まで停止期間を延ばすというようなことで考えております。

受水費につきましては、あくまで実際に福岡地区水道企業団から受水した量によるものになってきます、金額としてはですね。もともとの当初は約4億9,000万円ほど予定をしていたのが、今回約1,700万円ほど増額をさせていただくというものになってきます。

最後に、福岡地区水道企業団からの受水調整関係ですが、そこは都度福岡地区水道企業団と協議調整を行いながらさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） よろしいですか。

ほかはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（入江 寿委員） では、これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（入江 寿委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第58号「令和5年度太宰府市水道事業会計補正予算（第2号）について」を原案のお

り可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(入江 寿委員) 全員挙手です。

よって、議案第58号については原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(原案可決 賛成4名、反対0名 午前10時12分)

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第59号 令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について

○委員長(入江 寿委員) 日程第2、議案第59号「令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について」を議題とします。

補正予算書は黄色の冊子になります。

執行部の説明を求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長(大久保信孝) それでは、議案第59号「令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について」ご説明申し上げます。

黄色の表紙の補正予算書、こちらはまた3ページをご覧ください。

まず、収益的支出、1款1項4目総係費に31万5,000円を計上いたしております。

内容といたしましては、本年8月の人事院勧告に基づき、会計年度任用職員の給与費等を増額するものでございます。

次に、資本的支出、1款3項1目投資有価証券に1億円を計上いたしております。

内容といたしましては、近年の長期金利上昇を鑑み、資金運用の拡充を図るため、有価証券購入費を計上するものであります。

説明は以上でございます。

○委員長(入江 寿委員) 説明は終わりました。

質疑を行います。

質疑はありませんか。

木村副委員長。

○副委員長(木村彰人委員) 資金運用の拡充を図るため投資有価証券の購入費を計上するという事は理解しますけれども、令和4年度の決算の資料を見ているところですけども、投資有価証券自体は今までもタイミング見てやられてきたと思うんですが、ちなみに今までの実績というのをご報告いただきたいんですが。

○委員長(入江 寿委員) 上下水道課長。

○上下水道課長(大久保信孝) 今までの実績といたしましては、下水道事業会計においては1億円既に保有しております。こちらが現在のところ購入した利率が0.5%台ということで、現在長期金利が上昇していることから含み損が生じておる状況でございます。あわせて、水道事業に関しましても、現在3億円の投資有価証券の運用を行っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 今のところ、含み損で450万円ほど減っているんですよね。これなんですけれども、企業部局含めて行政関係が投資する場合のリスクというのが非常に気になる場所なんですけれども、これは本市企業部局の資金運用の方針、これはマイナスになってよろしいんですか。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（大久保信孝） 委員がご心配であるとおりに、資金運用といたしましては、まず元本を確保していく、要は安定した資金運用のためにはまずそこが第一になってまいります。ですので、今回購入しておりますのは地方公営企業金融機構債券を持っておるんですが、これは20年ものを買っております。こちらは20年保有しておれば、途中で含み損が生じたとしても元本は確保されます。ですので、今売却すれば損が生じるということになりますので、満期保有すれば元本は確保されるというところなんです。もともとの資金運用といたしまして、最も安全と言えるのであれば定期預金などになってくるかと思うんですが、定期預金の利率が今年4月末から3月末までおよそ1年間やるんですが、こちらが0.004%、それに対して今保有しているのが0.5%程度というところで、やっぱり100倍以上の差があるということもありまして、やはりここは資金運用の観点からいくと、非常に有価証券のほうが有益であるというふうに現在判断しております。

以上です。

○委員長（入江 寿委員） 木村副委員長。

○副委員長（木村彰人委員） 最後なんですけれども、これは企業部局のほうで責任持ってやられているというところなんですけれども、もう一つ私は心配なんですけれども、それはもちろん責任持ってやられているんでしょうけれども、これは市長部局のほうで何か最終的に客観的な診断というかそういうものが欲しいところなんですけれども、そういうのはないんでしょうか。全て企業部局のほうで判断されているんですか。

○委員長（入江 寿委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（大久保信孝） もともとの資金運用に関しましては、太宰府市全体で資金運用方針を定めております。その中でこういった債券、あるいは資金運用を可能ということで定めておりますので、一定ルールとしては一般会計公営企業同様のものとなっております。

以上でございます。

○委員長（入江 寿委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（入江 寿委員） これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(入江 寿委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第59号「令和5年度太宰府市下水道事業会計補正予算(第1号)について」を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(入江 寿委員) 全員挙手です。

よって、議案第59号については原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成4名、反対0名 午前10時17分〉

○委員長(入江 寿委員) 以上で当委員会に審査付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(入江 寿委員) ここでお諮りします。

本会議における委員会の審査内容と結果の報告、及び閉会中の委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議はありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(入江 寿委員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(入江 寿委員) これをもちまして建設経済常任委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時18分

~~~~~ ○ ~~~~~


太宰府市議会委員会条例第27条により、上記のとおり建設経済常任委員会の会議次第を書記に記録させ、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和6年2月15日

建設経済常任委員会 委員長 入 江 寿